

平成 28 年度東京大学地震研究所共同利用研究集会

「地震のリアルタイムモニタリングと情報の利活用」プログラム

日時：2016 年 11 月 24 日(木)～25 日(金)

場所：東京大学地震研究所 1 号館 24 日は会議室 (3F)、25 日はセミナー室 (2F)

■ 11 月 24 日 (木)

13:30～13:40 開会のあいさつ

座長 溜渕功史

- (1) 13:40～14:05 中野優 (JAMSTEC)
「海陸統合データによる震源決定のための簡易的な地震波速度構造」
- (2) 14:05～14:30 中村武史 (防災科研)
「日本海溝及び南海トラフ域における津波伝播即時予測システムの開発」
- (3) 14:30～14:55 野田俊太 (鉄道総研)、William L. Ellsworth (スタンフォード大)
「地震破壊の自己相似的および決定論的性質：M決定方法の即時性向上」
- (4) 14:55～15:20 山本俊六 (鉄道総研)
「鉄道における早期警報・地震情報活用の動向
—鉄道用地震情報公開システム—」

座長 山本俊六

- (5) 15:40～16:05 川元智司、高松直史 (国土地理院)
「GEONET リアルタイム解析システム REGARD によるリアルタイム断層推定」
- (6) 16:05～16:30 堀内茂木 (ホームサイスマメータ)
「震度マグニチュードによる震度予測の高精度化」
- (7) 16:30～16:55 小寺祐貴 (気象研究所)
「Compressional wave を活用した波動場予測手法の検討」
- (8) 16:55～17:20 東田進也 (気象庁)、溜渕 功史、小寺祐貴 (気象研究所)
「地象監視予測システム科学分野の性質と必要となる諸条件
—「原理は出来た。あとは誰でも作れるよ」という言い分へのアンチテーゼ—」

18:00～ 懇親会

■ 連絡事項

予稿は A4 版 2 ページ以内 (両面印刷で 1 枚) で、当日 50 部お持ちください。

■ 11月25日（金）

座長 林元直樹

- (9) 09:30～09:55 干場充之、小木曾仁（気象研究所）
「M7.3 熊本地震に伴う誘発地震：地震動即時予測の観点から」
- (10) 09:55～10:20 小木曾仁、干場充之（気象研究所）、志藤あずさ、松本聡（九州大学）
「減衰構造を取り入れた揺れから揺れの即時予測の試み：2016年熊本地震」
- (11) 10:20～10:45 林元直樹、齋藤潤、足達晋平、森本雅彦、西前裕司（気象庁）
「IPF法の実運用に向けて：熊本地震など最近の発表事例における検証」
- (12) 11:05～11:30 山田真澄（京都大学防災研究所）、林元直樹、西前裕司（気象庁）
「Hi-netと気象庁観測点を統合したIPF法—2016年熊本地震への適用」
- (13) 11:30～11:55 溜瀧功史（気象研究所）
「ベイズ推定を用いた自動震源決定の高度化 —事前確率の改良—」

座長 山田真澄

- (14) 13:10～13:35 鷹野澄、西口綾佳、目黒公郎（東京大学情報学環／東京大学地震研）
「緊急地震速報の震度予測精度の検証（その2）」
- (15) 13:35～14:00 源栄正人、大野晋、王欣（東北大学災害科学国際研究所）
「長期モニタリングデータに基づく建物の固有振動特性の季節変化と振幅依存性」
- (16) 14:00～14:25 Mike Lindner, Masato Motosaka (IRIDeS, Tohoku University)
「Real-time Ground Motion Prediction based on Data Assimilation using Front-site
Waveform Information for the Application to Near Site Earthquake Early Warning」
- (17) 14:25～14:50 Tsamba Tsoggerel (Mongolian University of Science and Technology)
「Development of Real-time Strong Motion Network with Structural Health
Monitoring in Mongolia」

座長 小寺祐貴

- (18) 15:20～15:45 石田寛史（京都大学大学院理学研究科）
「kurtosis(尖度)を利用したP波検知手法～東北地方太平洋沖地震の連続波形記録への
適用～」
- (19) 15:45～16:10 神定健二（高見沢サイバネティックス）
「高密度地震観測網によるリアルタイム強震動予測「”現象”」の速度に対応した密度
でのリアルタイム観測を」
- (20) 16:10～16:35 鷹野澄（東京大学情報学環／東京大学地震研究所）
「緊急地震速報（警報）発表基準の問題点の検証と改善の可能性」
- (21) 16:35～16:55 古瀬慶博（三菱スペース・ソフトウェア）
「緊急地震速報をめぐる「語り」の予備的考察（仮）」
- 16:55～17:00 閉会のあいさつ